

**芹ヶ澤 (滝之湯せぎ)**

せぎ 工事前		150石
せぎ 工事後		220石



**穴山 (大河原せぎ)**

せぎ 工事前		210石
せぎ 工事後		290石

**中道 (鳴岩せぎ)**

せぎ 工事前		130石
せぎ 工事後		210石

灌漑村々のせぎ工事前後の石高の変化  = 20石

 坂本養川の献策によるせぎ及び同時代に開削したせぎ  
 せぎの流末  
 村名 灌漑村々

(備考) 坂本養川の献策には、高木せぎ以外のせぎはすべて含まれている。養川は、天明5年(1785)の滝之湯せぎの工事を請負っている。天明8年にせぎ筋肝入を命じられてから、文化元年(1804)までは、役人として、せぎの開削に係わっているが、工事の施工者はせぎによって異なっている。小田野上せぎ・小田野下せぎ(五兵衛せぎ)は武井五兵衛が開削し、高木せぎは高木村が開削している。